

第103回 日本児童文学学会 中部例会(3月例会)

ご案内

第103回 日本児童文学学会中部例会を下記の通り開催いたします。お忙しいことと存じますが、ぜひご参加いただきますようご案内を申し上げます。
(一般の方は資料代:500円)

参加方法

- 本例会は**対面形式で開催**いたします。オンラインと併用したハイブリッド形式ではありませんので、下記の会場に直接お越しください。
- 例会の開催中とその前後はマスクの着用をお願いいたします。
- 体調面にご不安のある方は、ご出席をお控えください。

開催概要

日時：2024年3月9日（土） 14：00～16：50終了予定 ※13時より中部支部総会を開催いたします。

会場：愛知淑徳大学長久手キャンパス11号棟 ミニシアター

http://www.aasa.ac.jp/guidance/campus_guide/nagakute.html

〒480-1197 愛知県長久手市片平二丁目9

- 地下鉄東山線「本郷」より名古屋市営バス「猪高緑地」行き乗車、終点「猪高緑地（愛知淑徳大学）」下車（所要時間約15分）。
 - 地下鉄東山線「藤が丘」より名鉄バス「愛知淑徳大学」行き乗車、終点「愛知淑徳大学」下車（所要時間約18分）。
 - 地下鉄鶴舞線・名鉄豊田線「赤池」より名鉄バス日進中央線「長久手古戦場」行き乗車、「愛知淑徳大学南」下車（所要時間約27分）。徒歩1分。
 - 愛知高速交通東部丘陵線「長久手古戦場」より名鉄バス日進中央線「赤池」行き乗車、「愛知淑徳大学南」下車（所要時間約11分）。
 - 「名古屋駅前 名鉄バスセンター」4階 24番のりばより、近距離高速バス「愛知学院大学前」（特急）行き乗車、「愛知淑徳大学南」下車（所要時間約38分）。
 - 当日は駐車場の利用も可能。
- ※ 星が丘キャンパスではなく、長久手キャンパスでの開催のため、間違えないようご注意ください。

タイムテーブル

- | | |
|-------------|--|
| 13：00～ | 2023年度総会*会員の方はご出席ください。 |
| 13：45～ | 会場入室 |
| 14：00～14：05 | 開会あいさつ |
| 14：05～14：45 | 研究発表 松永（幾本）幸代（飯田短期大学（旧 飯田女子短期大学））
〈発表30分、質疑応答10分〉 |
| 14：45～15：00 | 休憩 |
| 15：00～15：45 | 講演 くすのき燕（人形芝居燕屋・人形劇演出家） |
| 15：50～16：35 | 対談&フロアとの交流 くすのき燕、浅野俊和（中部大学・聞き手） |
| 16：35～16：50 | 閉会のあいさつ、諸連絡 |

研究発表

保育者養成における人形劇創作の取り組み ―表現力を育て、協働性を高める―

飯田短期大学 (旧 飯田女子短期大学) 松永 (幾本) 幸代

勤務校のある長野県飯田市は「人形劇のまち」である。本学幼児教育学科では毎年12月に開催する「Expression (表現学習の発表会)」で、2年生が人形劇を上演する。授業カリキュラムに人形劇創作から上演までを取り入れ、グループでの上演を最終目標としている。この中では次の4点を基本の枠組みとしている。①2年生全員が演者として舞台に立つ。②グループで脚本・人形等の制作、演出・上演までを行う。③適時、プロの外部講師の指導を受ける。④1年生が上演を支える。

この取り組みでは脚本作成、人形製作、人形操演、演出のすべての過程で、表現力が必要となる。また、グループでの相談や練習、他グループや1年生との連携など、協働の場面が多く、その中で協働性が高められることが期待される。学生がこの取り組みを振り返ったとき、どのような学びが認識できるのだろうか。学生の振り返りシートやアンケート等を基に明らかにしたい。

講演

子どもにとっての人形劇 ―楽しみの中で想像力をつかう―

人形芝居燕屋・人形劇演出家 くすのき燕

人形劇は「生きていないものを生きているとイメージすることなしに成立しない芸術形態」です。人形劇を観るとき子どもの中に何か起こるのか。そして、どのような力が育つと考えられるのか。上演者からの実感を交えながらお話しします。その中では、子ども劇場福岡県センター子ども舞台芸術部の方々が、学習会の成果としてまとめられた『子どもと人形劇―観続ける私たちの発見―』についても触れたいと思います。

「子どもにとっての人形劇とは」を対談者やフロアの皆様とも一緒に考え、さらに深めることができればと思います。

講師プロフィール

1961年東京都出身 1985年信州大学人文学部心理学専攻卒業 1987年プーク人形劇アカデミー卒業 現在NPO法人日本ウニマ (国際人形劇連盟日本センター) 副会長 日本人形劇人協会会員 全国児童青少年演劇協議会会員 全国専門人形劇団協議会加盟

出演・作・演出・制作・海外劇団の招聘など人形劇の領域を幅広く経験。そのフィールドも、こども劇場・おやこ劇場・幼稚園・保育園・学校・図書館・病院など国の内外を問わない。現在、長野県内はもとより、全国で人形劇の上演、ワークショップのほか、映像出演や他劇団の演出を多数行うなどを多面的な活動を展開中。

2006年デフ・パペットシアター・ひとみ『はこ／BOXES じいちゃんのオルゴール♪』演出。2016年ポーランドとの共同制作作品『四季<<ポーランド>>』を演出。国際的評価を高める。 (HP「人形芝居燕屋」より一部抜粋)

講演の後、中部支部会員 浅野俊和 (中部大学) との対談を予定しています。その中で、さらにテーマを深めていきたいと思います。また、フロアの皆様からの質問やご意見も交え、子どもたちを取り巻く文化について広く交流ができればと考えています。

日本児童文学学会中部支部事務局からのお願い

事務局より

午前中に愛知淑徳大学長久手キャンパス2号棟で運営委員会を開催いたします。
詳細につきましては、役員及び運営委員会の皆さまに別途ご連絡差し上げます。

会計より

2023度の支部会費2,000円が未納の方は、納入をお願いいたします。お手数をおかけしますが、お早めに下記郵便局振込口座に、備え付けの用紙を使って振り込みをお願いいたします。休日でもATMが稼働しているときは振り込みができます。

口座番号：00550-4-52140

口座名称：日本児童文学学会中部支部

(他行からの振込みの場合は、〇五九（ゼロゴキュウ）店 当座 0052140 です。)

日本児童文学学会中部支部
〒480-1197 愛知県長久手市片平二丁目9
愛知淑徳大学福祉貢献学部
青木文美研究室気付
電話：0561-62-4111（内線2458）